

平成16年度学校経営計画表

1 学校の現況

学校番号	53	学校名	県立神栖高等学校			課程	全日制		学校長名	田口 彌						
教頭名	原 キ ミ								事務(室)長名	内田 陽子						
教職員数	教諭	37	養護教諭	1	常勤講師	5	非常勤講師	1	実習教諭, 実習講師, 実習助手	2	事務職員	3	技術職員等	2	計	51
生徒数	小学科		1年		2年		3年		4年		合計		合計クラス数			
			男	女	男	女	男	女	男	女	男	女				
	普通科		105	121	114	118	104	93			323	332	18			

2 目指す学校像

- 1 生徒の主体的な学びを引き出す教育活動を展開する。
- 2 基礎的・基本的な学習内容の確実な定着を図り、丈夫な身体とたくましい心を養う。
- 3 社会の変化に主体的に対応できる能力を備えた人間の育成に努める。
- 4 生徒一人一人の能力を開発し、豊かな人間性を培うため、教職員が一致協力して愛情を基盤とした教育活動を展開する。

3 現状分析と課題（数量的な分析を含む。）

項目	現状分析	課題
教科指導	学習する意欲が低く、家庭学習の習慣がほとんど身に付いていない生徒が多い。 中学校までの、基礎的・基本的学習内容が定着していないため高等学校学習指導要領に示されている内容に踏み込めない生徒が一定数在学习している。	・ 授業へ積極的に取り組む態度の育成を図り基礎的・基本的な学習から発展的学習に結びつけていく必要がある。
進路指導	進学（大学、短大、専門学校等）希望者と就職希望者がほぼ同数であるが、就職において達成率（平成15年度は82%）が低い。 将来を見通した職業観が薄れており、進路指導のプログラムを十分に消化することができない状況にある。	・ 進学、就職の自己実現に向けた進路計画を作成する必要がある。 ・ 個々の進路希望を実現できるよう学力向上策を検討する必要がある。
生徒指導	遅刻者が多く、規範意識が薄く服装、言葉遣いなどの高校生としてのマナーが十分身につけていない状況がある。	・ 規律ある生活と規範意識の高揚策を推進して、学校生活の充実を図っていく必要がある。
特別活動	愛校心やホームルーム等への帰属意識が薄く、ホームルーム活動や学校行事へ主体的に参加する態度が育まれていない。	・ 生徒による自主・自律的な活動を推進して、学校生活の活性化を図っていく必要がある。

4 中期的目標

- 1 学習意欲を喚起するために、生徒の実態にあった特色ある教育課程を編成するとともに、教科指導に関する研修を充実し、教育内容の改善・充実を図る。
- 2 進路実現の達成率を上げるために、個別指導や進路ガイダンスなどのきめ細かな進路指導や課外指導の充実を図る。
- 3 教育活動全体を通して、心の教育を推進し、規範意識や人権尊重の精神を養う。
- 4 生徒が主体的に参加し、好ましい人間関係を醸成して、充実した学校生活を過ごせるよう、文化祭やクラスマッチなどの学校行事の内容の改善を図る。

5 年次ごとの重点目標

年次	重点目標	具体的目標	達成状況
1年次	生徒の学習状況や学力の実態を把握し、基礎・基本を重視した学習指導計画の作成	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の実態を踏まえて、学習内容を精選・重点化し、基礎的・基本的な内容を明確にした学習指導計画を作成する。 生徒の学習意欲を喚起するため、習熟の程度や進路希望等に応じた適切な学習の場を設定する。 	
	3年間を見通した系統的・組織的進路指導計画の作成	<ul style="list-style-type: none"> 望ましい職業観や勤労観を育成し、生徒の進路実現を支援するために個人面談や進路ガイダンス及び進路体験学習を重視した進路指導計画を作成する。 	
	規範意識や基本的生活習慣の確立、人権尊重の精神の涵養を図る取り組みの構築 生徒会活動、学校行事等の運営の改善	<ul style="list-style-type: none"> 保護者や地域社会との連携の在り方について再確認し、遅刻防止、服装等の改善、マナーの向上に向けた指導計画を作成する。 「心の教育HR」及びボランティア活動の指導計画を作成する。 生徒の自主・自律の精神を養うため、生徒会の各組織が中心となって学校行事や生徒会活動が運営されるよう、企画・運営の在り方について内容の見直しと改善を図る。 	
2年次	生徒の自ら学ぶ意欲を高める学習指導の実施	<ul style="list-style-type: none"> 指導方法及び評価の在り方について工夫改善を推進するため、授業研究や公開授業を計画的に実施する。 習熟度別授業やITによる学習指導を推進する。 	
	主体的な進路選択と自己実現を支援する進路指導の実施	<ul style="list-style-type: none"> 「総合的な学習の時間」やLHRを活用して、生徒一人一人の自己実現を支援する。 進路意識を啓発するため、生徒と保護者へ適切な情報提供を計画的に実施する。 	
	規範意識や基本的生活習慣の確立、人権尊重の精神の涵養を図る取り組みの実施 学校行事、生徒会活動等の特別活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> 家庭、地域社会と連携・協力して、規範意識の高揚及び基本的生活習慣の確立やマナーの向上に向けた取り組みの充実を図る。 「心の教育HR」の充実とボランティア活動等の体験活動を重視した教育活動を展開し、心の教育を推進する。 クラスマッチ、体育祭等の企画・運営を生徒中心におこない、全職員がこれを支援して、学校行事全体を通して生徒の自主性を育てる。 	
3年次	学びを支援する学習指導の評価及び分析と改善	<ul style="list-style-type: none"> 2年次までの実践の成果と課題をもとに、学習計画や学習評価の工夫改善を図る。 教科・科目の目標、学習計画、評価等について「学習の手引き」を作成し、生徒と保護者に提示する。 	
	進路指導の評価及び分析と改善	<ul style="list-style-type: none"> 2年次までの実践の成果と課題をもとに、真の意味での生徒の自己実現を支援する進路指導計画を作成する。 	
	規範意識の高揚や基本的生活習慣の確立、人権尊重の精神の涵養を図る取り組みの評価と分析 学校行事、生徒会活動等特別活動の評価と分析	<ul style="list-style-type: none"> 2年次までの実践の成果と課題をもとに、基本的生活習慣の確立やマナーの向上及び心の教育の充実に向けた取り組みの改善を図る。 2年次に引き続き「心の教育HR」の充実とボランティア活動等の体験活動を重視した教育活動を展開し、心の教育を推進する。 2年次までの実践の成果と課題をもとに、学校行事全体を通して生徒の自主性を育てるための支援の在り方等について検討し、工夫改善を図る。 	